

北斗句会

北斗句会 十一月定例会（五日 偕行社、兼題「風」「虫」）

五十音順 特選は特選 石田きよし選

特選 師の墓をつつむ静寂（しじま）や虫の声 深見十万

特選 たまさかに佳きことひとつつ返り花 藤田紀潮

特選 夕映えの東京湾や虫しぐれ 山縣秀雄

愛らしき仏の貌や秋遍路 大崎石州

新蕎麦の香に誘（いざな）はる深大寺 太田黒幸風

一雨に色を深めて秋気澄む 大森康政

風邪の朝（あした）ほのぼの上がる粥の湯気 川瀬 亮

秋風やしぼし筍と庭に立つ 竹内雲泉

月今宵むかし話に耽（ふけ）りをり 田中資凡

蝮姑（けら）鳴くや習いたてらし二胡のひと 長池豆陽

成田路に機影見送る彼岸花 速水紫洲

秋ざくら雨にもめげず笑顔かな 宮下ひかる

朝まだき寒風頬に舫とく 森田光彦

秋の風波の調べを運びけり 吉岡誠山



瞬の間の象の逆立ち秋うらら

石田きよし